

学長のリーダーシップの下、特に重点的に取り組んだ事項

(1) 医学部附属病院患者付添者等宿泊施設「THE CROSS ROADS」の設置

本学医学部附属病院は市街化調整区域となっており、入院する患者の付添者が宿泊できる施設が近隣になかった。また、ドクターヘリの導入により、遠方からの利用者が増加していたことから、宿泊施設の確保が必要であった。これに対応するため、地元企業に相談したところ、株式会社宮崎ドライビングスクールから社会貢献としての建物の寄附の申請があり、令和2年1月に宿泊施設の運営事業者を一般公募し、同社が選定された。その後、医学部敷地内の廃水処理施設跡地を活用して患者付添者等宿泊施設「THE CROSS ROADS」（6棟+談話室）が寄贈された。

令和2年10月から運用が開始

南国宮崎らしさを表現した外観

シャワールーム・トイレ・洗面台・エアコン・テレビなどを完備

施設の趣旨に賛同した
(株)ユウワホームズから寄贈された
光触媒除菌・脱臭機も
設置されている。

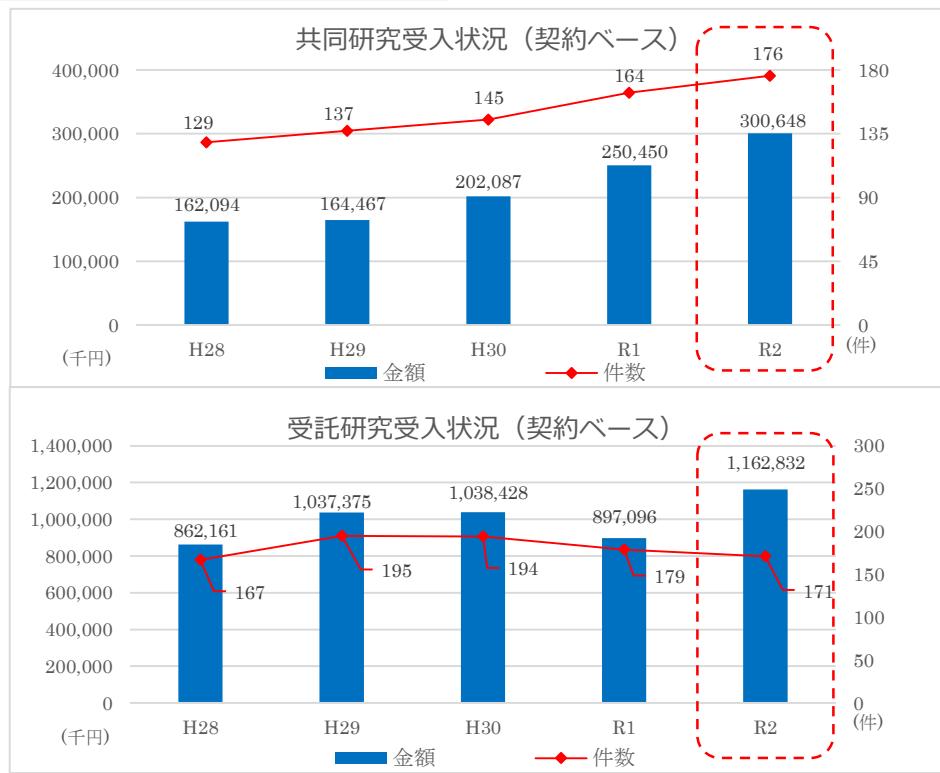
令和2年度

患者家族を中心に161人の利用

サービス向上に大きく貢献！

(2) 戦略的な予算配分等による外部資金獲得額の大幅な増加

本学では、学長のリーダーシップにより、平成29年度から①重点領域研究プロジェクト（生命20、農工20）における予算配分、②ミッションの再定義に関するプロジェクトへの予算配分、令和元年度からは③間接経費獲得額に応じた予算配分を実施している。さらに、「研究戦略タスクフォース」やコーディネーターと連携した外部資金獲得の推進により、第3期中期目標期間中で共同研究、受託研究受入額が最も多くなった。



学長のリーダーシップの下、特に重点的に取り組んだ事項

(3) 内部質保証体制の強化と 体制下での自己点検・評価の実施

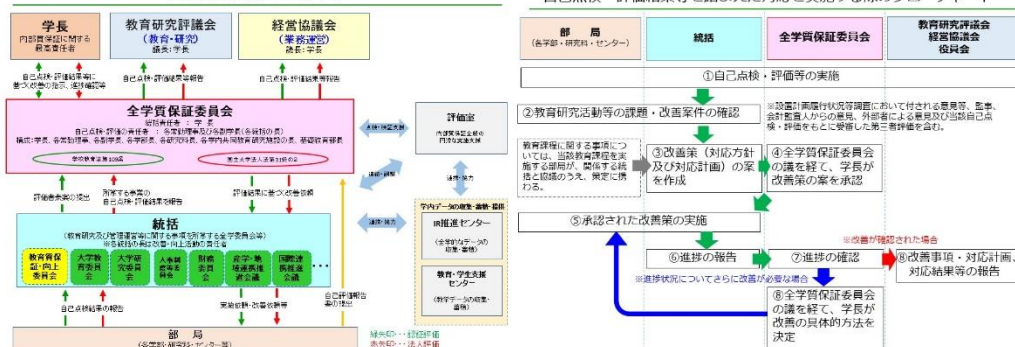
令和元年度に制定した「国立大学法人宮崎大学質保証規程」に基づいて、令和2年度は自己点検・評価の実施に必要な事項を定めた「国立大学法人宮崎大学自己点検・評価実施細則」を制定した。この定めにより、内部質保証の観点から自己点検・評価の方法（評価対象事項、実施時期、実施主体、評価基準等）に沿ったモニタリング・レビューを継続的に実施する仕組みが整い、評価を基盤とした業務改善システムが構築できた。また、それらの事項の改善に向けた進捗、検討状況及び改善したことによる成果についても同システムの中で確認できるようになった。

(4) 障がい学生支援のための 手話講座動画の作成

少しでも多くの人々が基礎的な手話を習得することで、聴覚障がいのある方が少しでも住みやすい環境になるよう、ソフト面での地域のバリアフリー化に貢献していくことを目的に、宮崎県聴覚障害者協会や学生サークルと連携し、インターネットを利用してスマートフォンなどで学習できる手話講座動画の制作を行い、本学公式YouTubeチャンネルに公開した。計10回（1回約30分）の体系的な入門講座となっており、YouTubeで気軽に視聴できることから、再生数が1,000回を超える動画もあり、様々な場面で活用されることで、手話によるコミュニケーションができる人が増えることが期待される。

内部質保証の体制

自己点検・評価結果等を踏まえた対応を実施する際のフローチャート



これらの体制下で自己点検・評価を実施

特に教育関連領域に関する改善事項を抽出・確認し改善計画を策定、それに改善まで実施したことで、教育の質保証が図られた。

